

施策評価シート

1 総合計画上の位置づけ

担当課：都市計画課

施策名	住環境
政策名	快適な「暮らし」を造る
施策がめざす将来の姿	・安全で快適な住環境が確保されていることで、市民が安心して暮らすことができるまちになっています。

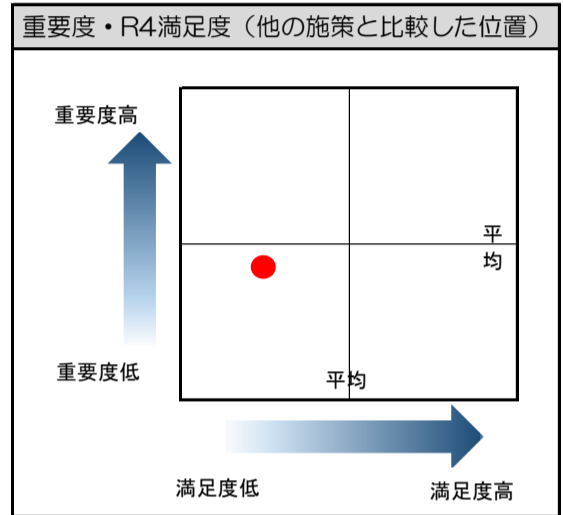
2 施策評価指標

成果指標名	単位	基準	令和4年度目標		令和9年度目標
区画整理整備率	%	21	54		100
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	21	21	21	21	21

3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

重要度/単位 (%)
令和3年度
99.1

満足度（満足している市民の割合）/単位 (%)		
令和3年度	 DOWN	令和4年度
79.8		77.1



4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

区画整理事業においては保留地処分など、先進的な手法により事業を進めていく必要があります。区画整理事業の推進により、安全で快適な居住空間の整備が進み、居住誘導や企業誘致の可能性が広がります。計画から完了まで年月を要しますが計画的に進めていきます。

5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

（右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに○、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。）

事務事業名①：耐震化促進事業

R4決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
4,038				耐震改修工事では、市が補助額を上乗せして支援していますが、制度利用件数は少ない状況です。令和6年度以降は国の要件が変更となるため、市の制度見直しが必要です。	

事務事業名②：空家等対策事業

R4決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
3,789	空家除去費補助金	↗	↗	空家対策による制度が認知・定着し、除却が進んでいます。特定空家等以外の空き家、将来的に空き家になるリスクを未然に防止する仕組み、空き家利活用の体制づくりを進めます。	○